

令和6年度 危機管理部の運営方針

危機管理部の組織体制

危機管理課

防災強靱化室

危機管理部長

竹内 浩巳

基本方針

1月1日に発生した能登半島地震を教訓として、想定される南海トラフ地震などの大規模災害に備えるため、防災活動の基本である「自助」「共助」「公助」を視点に、第2次総合計画に揚げた政策目標である「防災力を高めるまちづくり」を推進します。

- 「自助：自らの命は自ら守る」
在宅での生活を継続するため、家庭での安全対策への取り組みを支援するとともに、市民の防災知識、意識の向上のため啓発・普及に努めます。
- 「共助：自らの地域は皆で守る」
地域における防災組織や避難所運営組織の活動を支援し、防災組織体制の充実を図るとともに、市や関係団体との連携体制の強化に努めます。
- 「公助：市民の生命・財産を守る防災力の強化」
菊川市地域防災計画などの各計画により防災活動の効果的な実施を図るとともに、菊川市防災対策強靱化事業基本計画に基づき事業を推進し、市役所敷地一帯の防災機能強化を図ります。

重点的に取り組む施策・事業

<p>1 自助：自らの命は自ら守る (危機管理課)</p>						
<p>現状・課題</p>	<p>近年は、様々な自然災害や異常気象が懸念されています。日ごろから自己の命を守るための備えをすること、そして災害時には可能な限り自力で安全な場所へ避難することが重要になってきます。 しかし、防災・危機管理意識の醸成は、その人が置かれている生活環境によって個人差があり、具体的な行動や備えはまだまだ不十分な状況にあります。</p>				<p>達成目標</p>	<p>①女性防災ワークショップを6回(3種類×各2回)実施します。 (令和5年度3回)</p>
<p>取組内容</p>	<p>防災について、体験や参加者同士での話し合いを通して分かりやすく理解してもらうため「女性防災ワークショップ」を開催します。 また、出前行政講座などの機会を捉えて、防災行動を整理した「マイ・タイムライン」と「わたしの避難計画」の特徴や活動方法等を分かりやすく説明し、住民の早期避難意識の醸成を図っていきます。</p>					<p>②出前行政講座を35回以上実施します。 (令和5年度29回) (令和4年度22回)</p>

<p>2 共助：自らの地域は皆で守る (危機管理課)</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	
<p>現状・課題</p>	<p>大規模災害時には、地域における防災組織や避難所運営組織の活動も重要です。 避難所においては感染症防止対策も重要となります。「地区防災連絡会」及び「避難所運営委員会」との連携強化や活動支援を行い、地域における防災組織体制の充実を図る必要があります。</p>		
<p>取組内容</p>	<p>大規模災害時に地域との連携体制強化を図るため、感染症対策を十分に行う中で、地域防災訓練などを通じて自主防災会、地区防災連絡会及び避難所運営委員会と課題を整理して「自らの地域は皆で守る」ことを強化していきます。 また、自主防災会における資機材の整備・更新を推進し、共助における防災力の向上を図ります。</p>		<p>達成目標</p> <p>①防災訓練を5回実施します。 (令和5年度5回)</p> <p>②令和6年12月末までに防災講演会を開催します。</p>

<p>3 公助：市民の生命・財産を守る防災力の強化 (危機管理課)</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	
<p>現状・課題</p>	<p>災害時に正確な情報を迅速に市民へ情報発信するため、情報伝達の充実を図る必要があります。特に情報収集については重要であると考えています。 また、災害に強いまちづくりのためにはハード・ソフトの両面から取り組む必要があります。防災資機材や備蓄品の整備などを行い、災害時に適切な対応ができるよう平素から維持管理を行う必要があります。 更には、能登半島地震における災害現地の混乱を見ると、被災時に速やかに支援を受け入れる、いわゆる「受援」の体制を強化することが非常に重要です。</p>		
<p>取組内容</p>	<p>情報収集や情報発信については、自主防災会との連携は基より、AIでリアルタイムに情報を処理できる「SNSを活用した情報収集システム」を導入し、多方面から正確な情報を素早く収集できる体制づくりを構築します。必要な情報は、茶こちゃんメール、SNS及びdボタンなどにより早期に正確な発信を行います。 防災資機材や備蓄品については、「菊川市防災資機材備蓄計画」に基づき、整備・更新・維持管理を行い災害に備えます。 受援体制の強化に向けては、「菊川市災害時広域受援計画」を精査し、訓練を実施することで実効性を高めます。</p>		<p>達成目標</p> <p>①「SNSを活用した情報収集システム」を導入し、災害対策本部で情報を活用します。</p> <p>②総合防災訓練にて、受援に関わる訓練を実施します。</p>

<p>4 菊川市役所本庁舎外壁改修工事の実施 (防災強靱化室)</p>	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 					
<p>現状・課題</p>	<p>本庁舎は昭和58年竣工後、40年以上経過しており、外壁の老朽化が著しく、タイルの「剥がれ」・「ひび割れ」・「白華現象」が多くみられ、地震時には、大規模な剥落の危険性があることから、早急に外壁改修工事を実施する必要があります。 また、目地やサッシのシーリングの劣化や屋上や外壁のひび割れなどからの「雨漏り」も深刻となっています。</p>				<p>達成目標</p>	<p>旧町部地区センターの解体工事を完了し、外壁改修工事を発注します。</p>
<p>取組内容</p>	<p>外壁改修工事に先立ち、旧町部地区センターの解体を行い、仮駐車場を確保します。その後、剥落の危険性がある外壁タイルと下地を撤去し、新たに外壁へ金属パネルを取り付ける工事や防水工事を実施し、本庁舎の強靱化を図ります。</p>					